

企業、バス事業者と行政（道路管理者、交通政策者）が一体となった二見臨海工業団地におけるクルマの総量削減の取り組み（明石市）

山名孝志※、若間康弘（明石市土木交通部交通政策室交通政策課）
 ※現所属：兵庫県県土整備部県土企画局技術企画課
 横木剛、山中淳（玉野総合コンサルタント（株））

背景と目的

- 明石市西部に位置する二見臨海工業団地（人工島）においては、通勤などのためにクルマが多く出入りし、人工島内だけでなく、人工島周辺でも様々な交通問題が発生している。
- また、人工島と最寄り駅とを結ぶバスも運行されているが、経年的に利用者が減少している。
- このような背景のもと、企業、バス事業者と行政が一体となり、路線バス増便社会実験等を通じた二見臨海工業団地におけるクルマの総量削減の取り組みを実施した。



取り組みのねらい ①交通渋滞の解消 ②騒音・振動等の沿道環境の改善 ③CO2削減による地球温暖化対策
 ④交通安全（交通事故・通学路の安全確保） ⑤公共交通の維持

取り組みの内容

- 企業・山陽バス・市の3者でエコ通勤を進める会を結成し、人工島と最寄り駅とを結ぶ路線バスの増便社会実験を2011年4月から9月までの6ヶ月間に渡り実施した。
- 社会実験では通勤時間帯の駅とのアクセス向上と終バス時間の延長をはじめ、説明会やセミナー、従業員アンケートやかわら版の配布等により、エコ通勤の啓発と公共交通の利用促進を図った。
- また、社会実験を機に、マイカー通勤者の違法駐車が多い港湾敷地や無料駐車場の閉鎖によるクルマを駐車できない環境づくりや、交差点改良による渋滞緩和策を実施するなど、複合的に取り組みを展開した。

エコ通勤の啓発と公共交通の利用促進策

| 啓発支援施策 | 内容 |
|-------------------------------|--|
| エコ通勤に関する説明会の開催 | 企業担当者向けに社会実験の内容等を周知する場として説明会を開催 また、社会実験終了後、社会実験終了後の路線バス運行方針について周知するとともに、社会実験終了後の継続的な利用、協力を依頼するために説明会も開催 |
| エコ通勤に関するセミナー開催 | 従業員向けに社会実験の内容を周知するとともに、かしこいクルマの使い方を教えて頂く場としてセミナーを開催 |
| 企業への個別訪問 | 企業個別の状況や、通勤状況を把握するために個別訪問しヒアリングを実施する。あわせて事業所アンケート調査（通勤実態や取り組み意向等の把握）や従業員アンケート（通勤実態や転換移行等の把握）も実施 |
| 周知活動施策 | 内容 |
| かわら版の配布 | 二見人工島内に立地する全事業所に対し、定期的に社会実験の状況等を周知するためにかわら版を配布 |
| チラシ、ポスター、幟の配布 | 二見人工島内に立地する全事業所に対し、社会実験のチラシ（従業員全員分）、ポスター等を配布 |
| 看板の設置 | 二見人工島を出入りするクルマに対し、社会実験の実施を周知するため、主要な箇所に看板を設置 また、バス車両にもフロントマスクとステッカーを貼り社会実験をアピール |
| 企業へのインセンティブ施策 | 内容 |
| 職場交通プラン作成およびエコ通勤優良事業所認証制度登録支援 | 社会実験だけでなく、継続的なエコ通勤を促進するために、職場交通プランの作成およびエコ通勤優良事業所認証制度への登録支援を実施 |
| 利用促進施策 | 内容 |
| バスカードの割引販売 | 通常4,000円で4,600円利用可能なバスカードを、社会実験期間中限定で3,700円で販売（二見線専用） |
| バスカード利用者への協賛店舗 | 協賛店舗で当日利用したバスカードを提示することによる特別割引 |



施策と期待効果 ①モビリティ・マネジメント（MM）の実施（市）⇒クルマ以外の交通手段への転換誘導
 ②路線バスサービスの向上（バス事業者）⇒クルマに代わる交通手段の充実・利用促進
 ③交差点改良（県）⇒渋滞緩和による周辺環境の改善
 ④駐車対策（県市町）⇒クルマが利用しづらい環境の形成

取り組みの効果

